

輝け！ 食品ロスをなくす仕事 ～飢餓をゼロに～

チームともフル

駒田史帆

牟田美琴

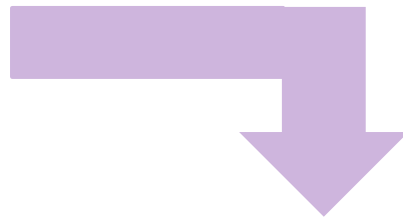
宮崎月那

解決したい課題 食品ロス&飢餓

出典：こどもSDGs達成レポート
SDGs達成に向けて何に取り組むべきかわかる本

1. この課題に設定した理由

テレビで、食べるものがなく**飢餓に苦しんでいる子ども**を見たり、本で**飢餓人口が増加**したりしていることを知った。



このままだと2040年は・・・
食品ロスや飢餓の人が**増え続ける**のではないかと

だから、食品ロスや飢餓をなくすために**具体的な取り組み**をする必要がある！



2.今の社会の食品ロスと飢餓の現状



世界的にも
深刻な課題となっている！！

世界ではまだ食べられる食料が1年で**13億トン**も
廃棄されている。
そのうち日本では約**612万**トン廃棄している。

国民1人あたり毎
日お茶碗**1杯分**の
食料を捨てている。

図1 世界で生産されている食料総量



※JAICAFの世界の食料ロスと食料廃棄（2010年8月～2011年1月調査）よりLLLが作成

3.インタビュー① シェフの方へのインタビュー ～食品ロスについて～

Q 食品ロスをなくすための工夫

A 曜日や天気などで**必要な量**が大体分かるため、その分準備する。
安いからといって**余分**に仕入れない。
仕込みが必要な料理は先にまとめて作り、小分けにして**冷凍**しておく。

Q 余った食材はどうしていたか

A **野菜の皮**などは**出汁をとる**のに使ったり、ステーキなどの**塊肉**
の端は違う料理に使用したりしていた。
客が残した食べ物は、丸々残っていたら自分たちで食べることもあるが、
捨てるときもある。

Q 食べ物を無駄にしない未来のためにすべきこと

A 一人一人が食べ物を**大切**にする。



自然（山や海）を綺麗に保つ。
客側も「**お金さえ払えばいい**」という考えをすてる。
戦争などで**食べられない人**のことも考える。
普段から「**もったいない**」という考えを持つ。

プティココット店長の駒田
道博さんに聞きました！



4.インタビュー②

シェフの方へのインタビュー ～食品ロスについて～

Q 食品ロスをなくすための工夫

A 無駄な仕入れをしない。

予約ができるようにしている。

冷凍、真空保存をする。

内容が固定されていないメニュー（日替わりランチ・スープなど）を用意する。

Q 余ったものをどうしているか

A 再加工して利用する。

スープ・サラダの具材として提供する。

Q 余ったものをどうしてほしいか

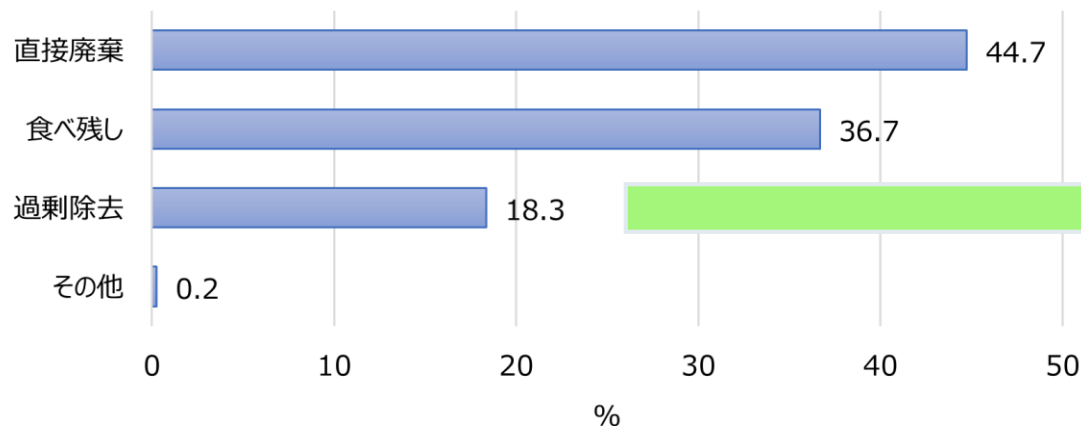
A 食べきれない量の注文はしないでほしい。



グランドミラージュのシェフの牟田さんに聞きました！

6. 家庭の食品ロスの原因

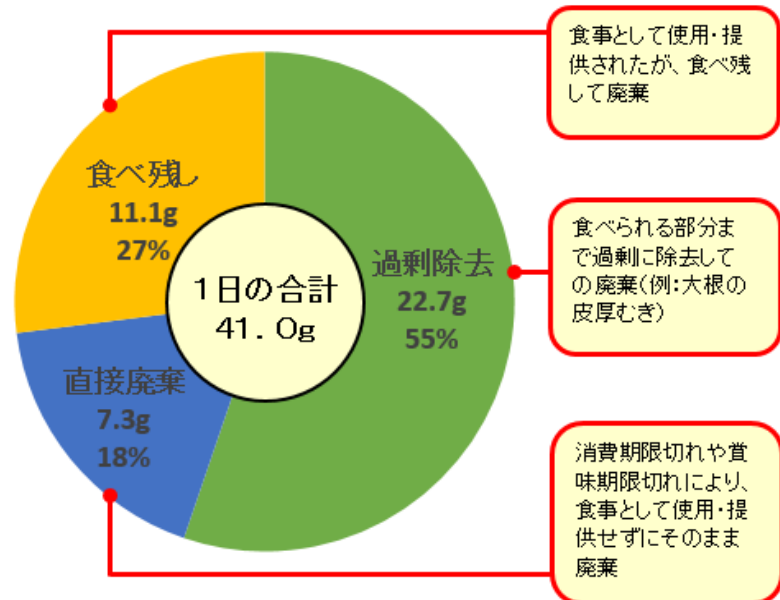
家庭における食品ロスについて、
最も何を意識していますか



過剰除去とは・・・

食べられる部分まで捨ててしまうこと
例) 厚くむきすぎた野菜の皮

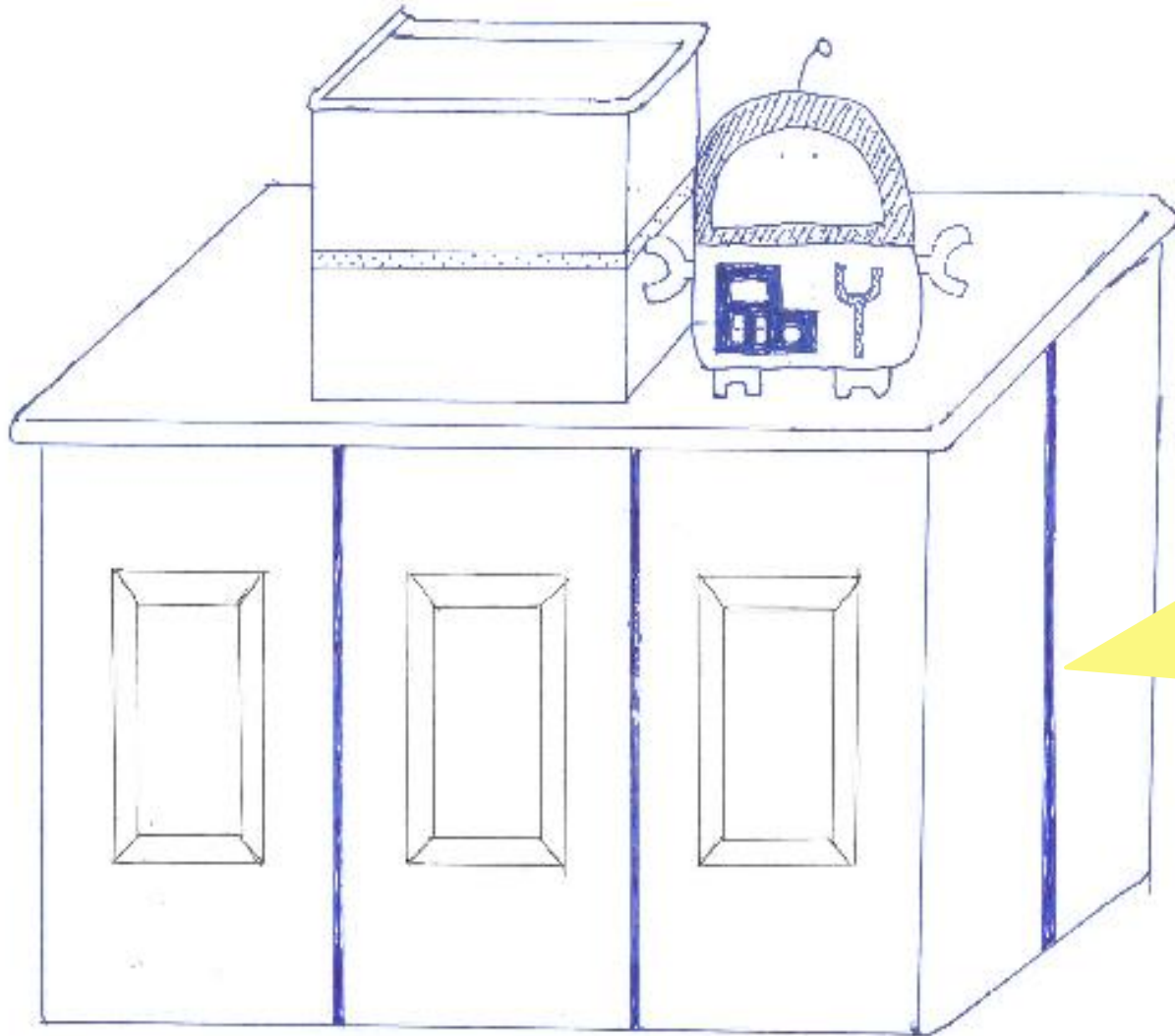
過剰除去への意識が
低い！！



過剰除去が
一番多い！！

7.提案

◎過剰除去をなくすために発明されていそうなもの
ソーティングロボット



～**過剰食品の分別**をするロボット～
上の口から入れるとロボットが食材を
分別する。

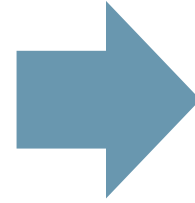
【分別の仕方】

- ①野菜などの**へた**②野菜などの**皮**③**肉類**
- ④**魚類**⑤卵の**殻**や野菜などの**種**や魚や肉の**骨**
- ⑥その他

※一週間に2回収集される

◎ソーティングロボットを使って世界に食品を届けるまでに必要な仕事

- ①ロボットを売る仕事・広める仕事
- ②週に2回ロボットで集めた食品を収集する仕事
- ③加工食品を考えて作る仕事
- ④世界中に食品を届ける仕事



～今はまだない仕事～
ごみを収集する仕事と
加工食品を考えて作る仕事



8.提案する仕事①

◎食品ロスをなくすためにできていそうな仕事

過剰食品収集員

★具体的な仕事内容

ソーティングロボットで集めた過剰除去された食品を
専用車で週に2回収集する。

食品ロスをなくすことに
貢献する仕事である！！

9.提案する仕事②


◎食品ロスをなくすためにできていそうな仕事

プロ加工フードデザイナー

★具体的な仕事内容

飢餓に苦しむ人々のために、ソーティングロボットで集めた、
過剰除去された食品を再加工して新しい食品を作る

この仕事をする事で
飢餓も食品ロスも
減らせる！！



加工ができない食品は
家畜などの餌にする

10.まとめ

今の社会の現状は・・・
食品ロスや飢餓が多い！！

そのために・・・

ソーティングロボットや、プロ加工フードデザイナーなどのロボットや仕事を作ることによって食品ロスや飢餓を少しでも減らすことができる！！